

近畿大学医学部奈良病院では

「胃癌術後炎症反応に関する多施設共同後ろ向き調査研究」を行っております。

登録・研究の目的と意義

胃癌根治術後の合併症発生は患者QOLを著しく低下させるとともに、入院期間の長期化、術後補助化学療法の開始時期の遅延等、適切な胃癌治療を妨げる要因となり、さらに術後合併症の発生ががんの再発因子、あるいは予後増悪因子であることが報告されています。

今回、関連多施設の手術症例を用いた後ろ向き調査研究を大規模に実施することにより、胃癌術後炎症反応値と術後合併症の発生が予後に及ぼす影響について検証します。

登録・研究の方法

術後 2008年1月1日から2010年12月31日に根治手術を行った胃癌患者さんを対象とします。術後の CRP(C 反応タンパク質)、術後合併症の有無、術後補助化学療法開始遅延・完遂の有無と予後との関連性について検討いたします。

データは大阪大学消化器外科が集計分析し、結果を学術集会・学術論文に報告致します。詳しくは主治医にお聞きください。

倫理的配慮について

登録いただいたお名前やご住所などの個人を特定できる情報は入力いたしませんので、病院外に個人情報が出ることはなく、個人が特定されることは一切ありません。また、この入力は当院の医師と決められたスタッフのみが担当しますので、あなたのプライバシーは守られます。

登録・研究の詳細についての関連リンク

本研究の詳細などについては、当院消化器外科のホームページをご覧ください。

この登録・研究のデータベースに登録されるのを希望されない場合は、お手数ですが下記へご連絡ください。

連絡先:近畿大学医学部奈良病院 消化器外科 井上雅智 (担当:藤原由規)

電話 0743-77-0880